



いじめ問題解決に向けた 教育懇談会 開催

10月25日（火）に、「北連携型小中一貫校いじめ問題解決に向けた教育懇談会（第5回学校運営協議会を兼ねる）」を藤岡公民館にて開催しました。警戒度は下がりましたが、参加人数を制限し、手指消毒や検温等感染症対策に万全を期しました。今回ご参加いただいたのは、区長会、民生児童委員、更生保護女性会、子育て連、3校のPTA本部役員、教職員の代表の皆さん、地域学校協働活動推進員・コーディネーターなどの地域の皆さんです。



左：藤岡市教委 田中教育長様
右：学校運営協議会 岩崎会長



1 藤岡市のいじめ対応について

【説明者】藤岡市教育委員会学校教育課 篠崎 隼人 指導主事様
「いじめ防止対策推進法」(H25)が改訂(R4.5月)されました。一貫校の「いじめ防止基本方針」でも校内組織を強化しました。3つの目標《未然防止》《早期発見》《いじめの対処と解決》に向け取り組みます。

2 北一貫校の取組及び本日の教育懇談会について

【説明者】藤岡市立神流小学校 校長 本田 伸一
「コミュニティスクール」と「学校要覧」についての紹介、本日の熟議内容とする「キャリアアップ・パワープラン」の取り組みと目標の紹介を行いました。



3 熟議まとめ

～キャリアアップ・パワープランの実践を通していじめのない地域をつくろう～

3つのテーマについて学校・家庭・地域でできることや実践していることを話し合いました。

① よさを認める

子どもをよく見る必要があります。よく見ていけばよい所を見つけてあげられ、ほめてあげられる。子どもはよさを認めてもらうことが学びにつながる。他の人をほめることは、ほめる練習にもなる。ほめることは難しいが「助かるよ」は伝えやすい。よさを認めて「ありがとう」を伝えるのもいい。

② いじめ防止

学校でのアンケート、生活の歩みノート、自主学習ノートなどから変化に気づけるようにしている。交通当番での朝の様子で「1人で登校している」など気づいたことがあったら学校へ連絡していきたい。ボランティアが子どもの生活圏にいて、子どもが親・先生以外に相談できる大人がいるのがよい。大人同士の連携も大切。相談しやすい環境づくりを学校、地域とともに進めていきたい。お祭りなど地域の活動が増えるといい。地域活動に参加して皆が知り合いになり話ができるといい。

③ みそあじ運動

みだしなみ・そうじ・あいさつ・じかん（をまもる）。当たり前のことを当たり前できるように、北中校区の大人も子どもも全員が「みそあじ運動」を実践しているのが理想。あいさつされると嬉しい気持ちになる。身だしなみや時間を守ることは、相手をもてなす心、思いやりの心。みそあじ運動で培いたい。



※裏面に参加者の感想を記載しましたので、ご一読ください。

【問い合わせ先】

藤岡市立北中学校 学校運営協議会広報部
☎ 22-1352 FAX 22-1353

＜教育懇談会の感想・ご意見＞

*たくさんの感想・ご意見をいただき、ありがとうございました。

今後の参考にさせていただきます。全ての感想を掲載できず、申し訳ありません。



◇キャリアアップパワープランについて、よく読んだことがなかったので、今回の懇談会を通して知ることができてよかったです。



QRコードより
北中ホームページ
キャリアアップ・
パワープランを
ぜひご覧ください

		キャリアアップ・パワープラン 北進機型小中一貫校 ぼくらがら☆☆(学校運営協議会)			
		学校の取組		地域の取組	
目指す子ども像	内容	小中学校	小中学校	家庭の取組	地域の取組
かしこく	視察	小中両校間の学びのつながりとなる教材作り(考えを込めた教材)や授業の工夫(考えを込めた教材)を連携して取り組んでいます。	授業のめあてに沿って、自分なりに自分の考えをもち、友達と話し合いながら学びを深めています。	学習や生活、学校行事のサポートをします。	北一貫校地域学校連携活動「どらりんアングル」 教育活動のサポートをします。地域の文化や風習を伝えます。
自分の経験を生かして活動解決する力をもちます	読書	読書を通じた学習活動の機会を確保し、未知な学びを体験できるようにしています。	読書の習慣を身につけ、読書が好きな子どもになります。	子どもとともに読書に親しみ環境づくりに努めます。	世代間の交流を通して、地域の文化や風習を伝えます。
心ゆたかに	読書学習	小中両校に共通して、読書学習の習慣化を図ります。	先生がアドバイスをもらいながら、進んで読書学習に取り組めます。	子どもの読書学習に関心をもち、学習しやすい環境づくりをします。	学校・子ども・関心をもち、子どもへの支援をします。
周りの人とともに活動できる楽しい心をもつ	よさを認める	「ホームルーム(集会)の活動等、さまざまな自主活動も大げんに、よさを認め、ほめ、称賛を促します。	自分の長所を知り、長所をいかに活かせるか考えます。	子どもにもよさを認め、たくさんほめ、愛をもってもらいます。	学校・子ども・関心をもち、子どもへの支援をします。
個性を大切に	心ゆたかに	子どもよさを認め、個性を大切に伸ばす(仲間を信頼し、協力し合う等)に努め、いじめ防止策に向けた組織的な取組を実施します。	困難や違う得意分野の子にも伸ばしていくための学校生活を送ります。	個性や長所を生かして、正しい思いやり、公平公正な活動を行い、いじめのない学校にします。	教育委員会と連携し、地域での問題に取り組めます。
進捗性	進捗性	授業や特別活動を通じて読書教育を推進し、人との関わりや集団や社会との関わりの中で生きていく力を身に付けます。	読書の授業で、どうすることがいいか、よさを認め合います。	読書の授業や生活活動で、自律的に行動し、よさを認めます。	学校・子ども・関心をもち、子どもへの支援をします。
たくましく	健康	健康的な生活習慣を確立し、安全で健康的な生活を送るよう実践し、健康づくりを推進します。	「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムを確立し、健康的な生活を送ります。	健康チェックや検診を行い、健康的な生活を送るよう実践します。	学校・子ども・関心をもち、子どもへの支援をします。
責任感	責任感	自分の力を理解し、多様な活動に参画する力を伸ばす機会をもち、活動が楽しくなるよう実践します。	自分の力を大げんに、活躍の場を確保します。	自分の力について理解し、自分の活動の継続に取り組まします。	学校・子ども・関心をもち、子どもへの支援をします。
社会に生きる	社会に生きる	「自分と他者の関係性を尊重し、思いやり、誠意を持って生きていく学」	自分と他者の関係性を尊重し、思いやり、誠意を持って生きていく学	自分と他者の関係性を尊重し、思いやり、誠意を持って生きていく学	学校・子ども・関心をもち、子どもへの支援をします。
みそあじ	みそあじ	「みそあじ(自分と他者の関係性を尊重し、思いやり、誠意を持って生きていく学)」	自分と他者の関係性を尊重し、思いやり、誠意を持って生きていく学	自分と他者の関係性を尊重し、思いやり、誠意を持って生きていく学	学校・子ども・関心をもち、子どもへの支援をします。

◇現場の学校の具体的な取り組みが聞けてとてもためになった。個性を尊重してそれぞれの子に接する接し方があると思った。
◇よさを認めるために、子どもの行動に常々意識してコミュニケーションをとるようにしたいです。



◇褒めることが難しいと感じている人が多いのが分かりました。
◇SNSの使い方、マナーを教えることが必要というのが一致した考えでした。



◇それぞれの立場で話すことで、相手の思いや意見を聞いて学びが深まりました。
◇大人の私たちができることがまだまだたくさんあることを知りました！ありがとうございました。
◇子ども同士、大人同士また地域の人ともこんな風に気軽に話せる関係が築けるといいと思います。

◇みそあじ=相手を大切にすること、に全てが詰まっていると感じました。関わる人全てに対して大切にすることができれば、いじめは大きくなりません。

- ◇もっとPTAの方の参加者を増やし、親の立場で考えていることを聞いてみたいです。
- ◇家庭訪問がなくなったことで学校と保護者が離れてしまっているような感じがします。
- ◇子どものいる家庭が、地域の行事や今日の会議に関心を寄せてほしい。
- ◇意義のある会なので、もっと時間を増やして話したい。

